

【重要】 答えは、別紙の答案用紙に記入すること。問題用紙は回収しない。

解答は所定の解答欄に記入し、小問題の番号を記載すること。

答案には答えだけでなく、導出の過程も記すこと。

問題 1 〔微分とその応用〕 (1)–(4) を求め、(5)–(6) に答えよ。

$$(1) y_1 = \frac{d}{dx} \left( 7 + 6x^5 + \frac{4}{x} + 3\sqrt{x} + e^x \right)$$

$$(2) y_2 = \frac{d}{dx} (\sin x + \cos x + \log x)$$

$$(3) y_3 = \frac{d}{dx} (\sin^2 x + \sin(x^2))$$

$$(4) y_4 = \frac{d}{dx} (x^2 \log x + \tan x)$$

(5) ライブニッツの公式:  $f(x), g(x)$  に対して

$$\frac{d^n}{dx^n} (fg) = (fg)^{(n)} = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} f^{(k)} g^{(n-k)}$$

を利用して、 $y_5 = \frac{d^n}{dx^n} (x^2 - x) \sin x$  を求めよ。

(6)  $y = e^{-x^2}$  の導関数を求め、増減表を作成し、グラフを描け。

問題 2 〔積分とその応用〕 (1)–(6) を求め、(7) に答えよ。

$$(1) I_1 = \int \left( 7 + 6x^5 + \frac{4}{x} + 3\sqrt{x} + e^x \right) dx$$

$$(2) I_2 = \int (\sin x + \cos x + \tan x) dx$$

$$(3) I_3 = \int \frac{e^x + 1}{e^x + x} dx$$

$$(4) I_4 = \int_0^{\pi/6} (1 - \sin^2 x) \cos x dx$$

(ヒント  $t = \sin x$  と置換)

$$(5) I_5 = \int x^2 \log x dx$$

$$(6) I_6 = \int \frac{x+1}{(x+2)(x+3)} dx$$

(7)  $y = f(x)$  のグラフの  $a \leq x \leq b$  の長さ  $L$  は、

$$L = \int_a^b \sqrt{1 + \left( \frac{dy}{dx} \right)^2} dx$$

で与えられる。カテナリー曲線  $y = \frac{e^x + e^{-x}}{2}$  の、 $0 \leq x \leq 1$  の長さを求めよ。

問題 3 〔級数展開〕 関数  $f(x)$  の  $x = a$  におけるテーラー展開が、次式で表される。

$$f(x) = f(a) + \sum_{k=1}^{\infty} \frac{f^{(k)}(a)}{k!} (x-a)^k$$

また、 $x = 0$  のまわりのテーラー展開をマクローリン展開という。

(1)  $e^x$  に対する  $x = 0$  のまわりのテーラー展開 (マクローリン展開) を導出せよ。

(2)  $\sin x$  と  $\cos x$  のマクローリン展開が、

$$\sin x = \sum_{k=0}^{\infty} \frac{(-1)^k}{(2k+1)!} x^{2k+1} = x - \frac{x^3}{3!} + \frac{x^5}{5!} - \frac{x^7}{7!} + \dots$$

$$\cos x = \sum_{k=0}^{\infty} \frac{(-1)^k}{(2k)!} x^{2k} = 1 - \frac{x^2}{2!} + \frac{x^4}{4!} - \frac{x^6}{6!} + \dots$$

と表されることを用いて、 $e^{ix}$  を  $\cos x, \sin x$  を用いて表わせ。ただし、 $i = \sqrt{-1}$  とする。

問題 4 〔偏微分〕 2 問を選択して答えよ。

(1) 関数  $z(x, y) = e^{2x} \cos 3y$  の 2 階の偏導関数をすべて求めよ。

(2)  $f(x, y) = \log(x^2 + y^2)$  とするとき,  $H = \frac{\partial^2 f}{\partial x^2} + \frac{\partial^2 f}{\partial y^2}$  を求めよ.

(3)  $x = r \cos \theta, y = r \sin \theta$  とする. 全微分の対応として,  $dx = \frac{\partial x}{\partial r} dr + \frac{\partial x}{\partial \theta} d\theta$  および  $dy = \frac{\partial y}{\partial r} dr + \frac{\partial y}{\partial \theta} d\theta$  が成り立つことを利用して, 次の式を示せ.

$$(dx)^2 + (dy)^2 = (dr)^2 + r^2(d\theta)^2$$